

夢つむぐ島

～島人みんなで織り上げる未来～

シリーズ6. 「老いる」世代のために

島の現状と施策の方向性

久米島町の高齢化率は2019年（令和元年）末時点で26%となっています。最高齢は105歳（女性）、100歳以上の人数は14人。島内には現役で仕事をしている方や、老人クラブやスポーツ施設等で趣味に興じるなど、65歳以上の高齢者が元気に活躍しています。高齢者のなかには、さまざまな経験や技能を持っている方も多く、「シルバー人材」として社会で活躍し、さらなる若さと健康を維持しています。地域の問題を解決するためのボランティアとして、さらなる活躍が期待できると共に、その力を発揮してもらえるシステムづくりも必要です。

島内には老人ホームのほか、デイサービス等の複数の介護事業所があります。その他、社会福祉協議会では、独居高齢者や日常生活に支援を必要と感じている高齢者に対して、訪問介護や地域サロン等を行なっています。福祉課では高齢者の体操指導、健康相談など介護予防サービスも提供し、地域包括支援センターによりさらなる高齢者福祉の充実にも取り組んでいます。

しかし、近年、本町でも「老老介護」や「孤独死」が問題になりつつあります。令和元年版高齢社会白書によりますと、「どこで最期を迎えたいか」という質問に、51.0%の高齢者が「自宅」と回答しました。生き活きと幸せな島人としての人生を全うしてもらうためには、少なくとも生まれ育った島で最期を迎えられるようサポート体制を充実させる必要があります。

人生最後のステージである、高齢期の健康と生き活きとした暮らしの実現を目指します。

計画に位置づけられた事業の成果や課題など

●地域介護予防活動支援事業（福祉課）

事業内容	町内21箇所の公民館等で通いの場を提供することで、地域活動の充実や閉じこもり防止などの効果が期待できる事業として、介護保険広域連合から全額、地域支援事業費として補助されています。	
成果目標	公民館等で通いの場の提供実績	基準値 H29年 20会場 ⇒ R1年 21会場（1会場増）
事業効果	地域活動の充実や閉じこもり防止などの効果が期待できます。	
改善点又は今後の取組方針	独居高齢者や高齢者世帯等が閉じこもることを防止することで、要介護状態にならない、要介護状態であっても重度化防止を図るため、一人でも多くの町民が同事業に参加するように普及啓発活動を積極的に実施します。	

●包括的支援事業（福祉課）

事業内容	地域の実情に応じた総合事業の展開や適切なサービスの提供等、地域包括ケアシステムを支えるために地域包括支援センターの運営及び次の事業を実施しており、介護保険広域連合から全額、地域支援事業費として補助されています。 ①第1号介護予防支援事業、②総合相談支援業務、③権利擁護業務 ④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	
成果目標	①要支援者数（実績） ②要介護者数（実績）	①基準値 H29年度末 132人 ⇒ R1年度末 128人 ②基準値 H29年度末 432人 ⇒ R1年度末 394人
事業効果	地域の実情に応じた総合事業の展開や適切なサービスの提供等、地域包括ケアシステムを支えるために地域包括支援センターの運営及び各種事業を実施することで、久米島町の地域包括ケアシステムの体制整備が可能となります。	
改善点又は今後の取組方針	地域包括支援センターに福祉専門職の配置が困難な状況である。そのため、島内の事業所等と連携し、配置に向けて積極的に取り組む必要があります。	